

小学校 6年 国語科

感じる表す × 書く

育成したい国語力

感動したことを確かに伝えるため、俳句の形式に応じて工夫して書き、表す。

単元名 「短歌と俳句」「みんなの詩」

単元の流れ

第1時

・短歌や俳句についての特徴を知る。
・範読を聞いた後、繰り返し音読をする。

第2・3時

・短歌や俳句を読み味わう。
・好きな短歌や俳句を選んで暗唱する。

第4時(本時)

・俳句を作る。

第5時

・詩を音読する。
・詩を作る。

(俳句日記)

国語力育成の視点

国語力を育成するには、日本の言語文化に親しみ、創造したり、演じたりするのに必要とされる、読書、鑑賞、詩歌や俳句など含めた創作や書写などの言語活動に取り組むことも重要です。5・7・5という言葉のリズムを通して、感動や心情を効果的に伝える俳句や短歌は、日本の言語文化に欠かせないものです。

小学校では、短歌や俳句は、声に出して文語の調子に親しんだり、情景や作者の思いの描写を読み味わったりすることが中心となりますが、本単元では、作ることで表現形式に関心を持ち、表す力を育成します。また、語彙力や言葉に対する感性、国語への関心・意欲・態度を育てることができます。

本時の目標

・俳句の表現形式に興味をもって、自分のなりの思いや感じたことを表現することを楽しむ。
(国語への関心・意欲・態度)

本時の流れ

導入

一斉
各季節の俳句を音読する。
季語を知る。

展開1

一斉
好きな俳句を選んでワークシートに写したり、その句から想像したようすを絵や文でかいたりする。

展開2

個別
季語をできるだけ使って季節感のある俳句を作る。
読んでみて、自分の気持ちに合う言葉かどうか吟味をする。

展開3

グループ
互いの作品を読み合いよい点や改善点を見つけてコメントを書く。

まとめ

一斉
俳句日記への意欲をもつ。

視点 ③

俳句から思い浮かべたようすを、絵や文に表すことによって、5・7・5で表現することや、5・7・5から想像を広げることのおもしろさに気付くようになります。

ワークシート

俳句から思い浮かべたようすを絵や文にかこう

ワークシート

友達から ようすを絵にかこう 季節

友達から ようすを絵にかこう 季節

視点 ②

友達の作品を読み、情景を思い浮かべます。思い浮かべたことを交流したり、友達の表現のよい点を見つけ、自分の俳句作りに生かそうとしたりする姿が期待できます。

視点 ①

作った俳句が自分の思いや感じたことにぴったり合っているか、吟味することは、言葉への感覚を磨く大切な活動です。
吟味のあしあとがよく分かるように、推敲するたびに緑のカードに書き、上に重ねて貼っていきます。